

アクサ生命の変額個人年金保険

5年計画

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)付変額個人年金保険(06)
保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

2011年度 特別勘定の現況 (世界分散型3ODI)

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/life/>

お問い合わせ先 **0120-375-193**

<受付時間> 月～金 9:00～19:00

土 9:00～17:00

(日・祝日、年末年始の当社休業日を除く)

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント  ダイヤモンド

【利用する投資信託の委託会社】DIAMアセットマネジメント株式会社

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を結集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。
特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(■契約概要、■注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06）
保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06）
特別勘定の現況（2011年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2011年4月～2012年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比▲1.73%下落の854.35ポイント(前期末は869.38ポイント)で終了しました。4月は、原発事故収束見通しの不透明感から下落基調が続く、米国景気の減速懸念やギリシャの財政懸念などから6月中旬頃まで軟調な推移となりました。その後ギリシャの財政懸念の後退などにより上昇しましたが、8月に入ると米ドル/円為替で一時、75円台をつけるなど円高が続く、下落しました。11月にはイタリアの長期国債利回りが一時7%を上回るなど信用不安が拡大し、大幅に下落しました。1月から3月にかけては欧州債務不安が和らいだことや円安の進行などにより上昇基調で推移しました。業種別(東証33業種)では、日本たばこ産業が増益となった「食料品」(前期末比+20.56%)が最も上昇した一方、任天堂が減収減益となった「その他製品」(同▲25.58%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+7.24%上昇の13,212.04ドル(前期末は12,319.73ドル)で終了しました。8月上旬には米国債の格下げや欧州債務問題の深刻化などを背景に大幅安となりました。その後10月に、好調な米経済指標の発表やEU首脳会議での債務問題に関する包括戦略合意などを受けて大幅に上昇しました。1月以降はギリシャ債務削減交渉の進展やFOMC(米連邦公開市場委員会)が景気判断を上方修正したことなどを背景に、上昇基調で推移しました。欧州株式市場は、下落しました。欧州債務問題をめぐる進退などを背景に、期中は概ね米国と同様の動きとなりました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比▲2.37%下落、仏CAC40は同▲14.17%下落、独DAXは同▲1.34%下落となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利上昇の後低下基調で推移しました。新発10年国債利回りは0.985%となりました(前期末は1.255%)。4月は、東日本大震災の復興・復旧に向けた政策が意識される中、財源として国債の増発が警戒されたことなどから、金利は1.3%台へ上昇しました。その後株価が弱含みに転じたことなどから、金利は低下基調で推移しました。7月は、株価の堅調な推移などから、金利は1.1%後半に上昇しましたが、米国景気の減速懸念を受けて株式市場が軟調な推移となったことなどから低下基調が続きました。10月以降は欧州債務問題をめぐる進退などから揉み合いで推移しました。11月は、政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を年0.0%から0~0.1%程度で推移するよう金融市場調整を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

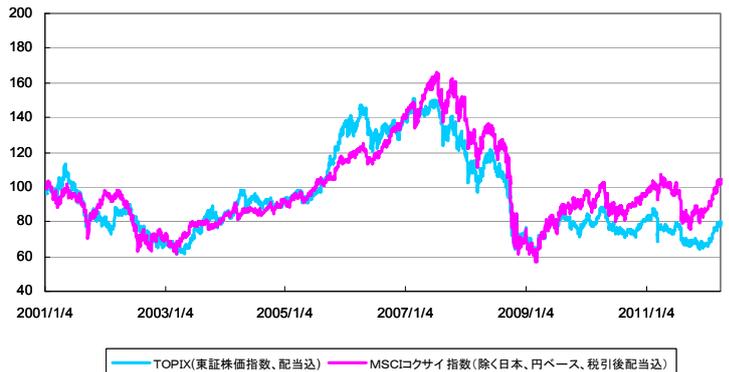
米国債券市場は、大幅に金利が低下しました。米10年国債利回りは2.209%となりました(前期末は3.470%)。8月には、FRB(米連邦準備制度理事会)が超低金利政策を継続する決定をしたことや、欧州債務問題の深刻化などから金利は低下しました。その後は欧州債務問題をめぐる進退などから揉み合いで推移しました。欧州債券市場は、大幅に金利が低下しました。独10年国債利回りは1.794%となりました(前期末は3.354%)。7月下旬以降、欧州債務問題の深刻化を受けて、独国債がリスク回避資金の受け皿となったことから金利は低下しました。その後は欧州債務問題をめぐる進退などから揉み合いで推移しました。FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00%~0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は4月と7月に政策金利を0.25%ずつ引き上げ、年1.50%としましたが、11月と12月には0.25%ずつ引き下げ、年1.00%としました。

【外国為替市場】

外国為替市場は、円高基調で推移した後、期後半にかけ円安基調で推移しました。米ドル/円相場は、前期末比96銭(+1.15%)円高ドル安の1ドル=82円19銭となりました。4月上旬に米国景気回復期待から一時円安にふれた後、10月頃までは、米国連邦債務の上限問題に係る協議の難航やFRBによる超低金利政策の長期化などから円高基調で推移しました。2月中旬以降は、米国株式市場が堅調だったことや日銀による追加金融緩和と政策の決定などを受け、円安基調で推移しました。ユーロ/円相場は、前期末比7円77銭(+6.61%)円高ユーロ安の1ユーロ=109円80銭となりました。ギリシャの財政懸念が強まったことなどからリスク回避の動きが強まり、円高基調で推移した後、10月の欧州各国による包括戦略の合意などから円安にふれる局面がありました。その後は欧州債務問題の深刻化などから再び円高基調で推移しましたが、2月のギリシャへの追加金融支援策合意などから欧州債務懸念が和らぎ、期末にかけて円安が進行しました。

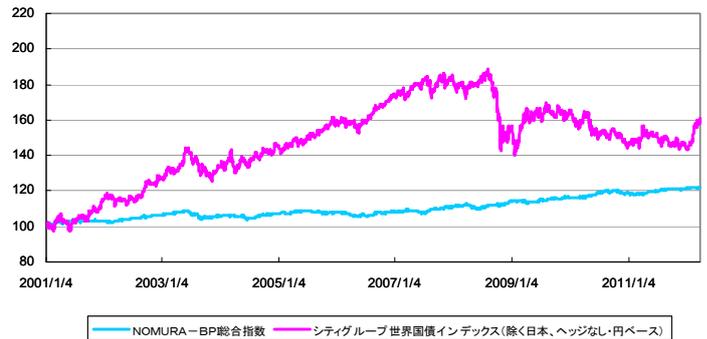
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

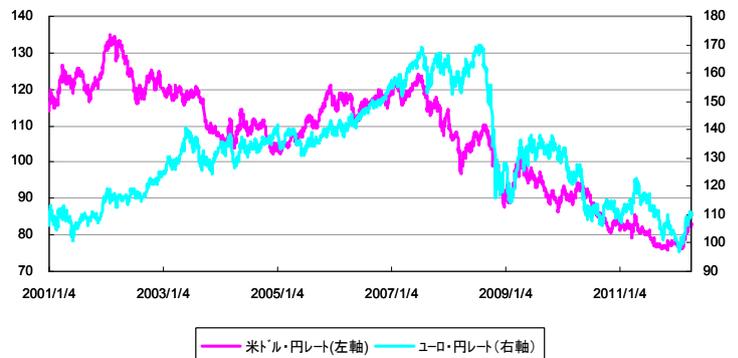


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命「AXA」 <http://www.axa.co.jp/life/>

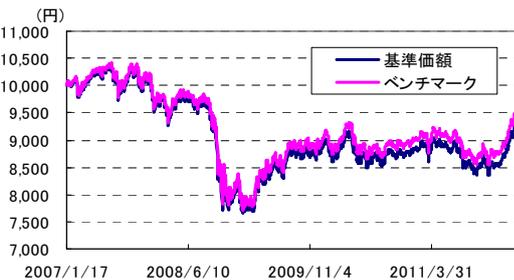
保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2011年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)の運用状況 [2012年3月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
基準価額およびベンチマークは設定日(2007年1月18日)の前日を10,000として表示しております。
基準価額は信託報酬(年率0.315%(税込0.3%))控除後です。

分配金情報(税引前)

※分配金は1万円当たり

第3期(2009.06.22)	分配金	0 円
第4期(2010.06.22)	分配金	0 円
第5期(2011.06.22)	分配金	0 円
累計分配金		0 円

※直近3年分

※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/02/29)	3ヵ月 (2011/12/30)	6ヵ月 (2011/09/30)	1年 (2011/03/31)	3年 (2009/03/31)	5年 (2007/03/30)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	0.94%	7.55%	9.10%	3.28%	14.53%	-7.69%	-7.78%
ベンチマーク	0.93%	7.55%	9.12%	3.59%	16.04%	-5.88%	-5.64%
差	0.01%	-0.00%	-0.02%	-0.31%	-1.51%	-1.81%	-2.14%

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なる場合があります。

ファンドの特色

- 主な投資対象** 主として国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。
- 投資方針** マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
- ベンチマーク** 以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

各資産のベンチマーク

- 【国内株式】 東証株価指数(TOPIX、配当込み)
- 【国内債券】 NOMURA-BPI総合
- 【外国株式】 MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)
- 【外国債券(為替ヘッジなし)】 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
- 【外国債券(為替ヘッジあり)】 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額および利回り保証のいずれもありません。○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。○投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当月末基準価額・純資産総額

基準価額	9,222 円
純資産総額	29,061 百万円
設定日	2007年1月18日
決算日	原則 6月 22日
信託期間	無期限

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本資産配分比率	差
国内株式	9.9%	10.0%	-0.1%
国内債券	30.1%	30.0%	0.1%
外国株式	19.7%	20.0%	-0.3%
外国債券	39.4%	40.0%	-0.6%
現金等	0.8%	0.0%	0.8%
合計	100.0%	100.0%	-

※計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

※外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

! ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は、契約初期費用・保険契約管理費・運用関係費の合計金額となります。なお、年金種類の変更により一般勘定年金を選択された場合には、年金管理費がかかります。

特別勘定繰入前に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期	
契約初期費用	ご契約の締結などに必要な費用	一時払保険料に対して 5% (例)一時払保険料1,000万円の場合、 50万円	一時払保険料を特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

据置期間中に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期	
保険契約管理費	特別勘定年金受取累計金額(既払年金累計金額)と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1	特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率 0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用(特別勘定年金受取期間中)

項目	費用	ご負担いただく時期	
保険契約管理費	特別勘定年金受取累計金額(既払年金累計金額)と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1	特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率 0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用(年金の種類の変更により一般勘定年金を選択した場合)

*「年金払特約(06)」により年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただく時期	
年金管理費*2	年金のお支払いや管理などに必要な費用	年金額に対して 1.0% (例)年金額が100万円の場合、 1万円	年金受取日に、責任準備金から控除します。

*1 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関係費は運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

*2 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他の留意事項について】

■受取総額保証金額(定期型)

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間(5年～17年)と特別勘定年金受取期間(3年～15年)の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>